

紀美野町小川LPP

棚田を学ぶ・棚田で学ぶ
教育要素を取り入れた体験観光

棚田が、教室になる。

紀美野町小川地区

和歌山県の北部に位置する紀美野町小川地区には、中田の棚田をはじめとした里山の風景が残っています。棚田は米づくりの場であると同時に、水や土と向き合う暮らしの知恵が詰まった場所でもあります。

紀美野町小川LPP

私たちは、4回生1名、3回生2名、2回生4名、1回生5名の12名で活動しています。今年度は「棚田で学ぶ体験観光」を軸に、田植え・稲刈りなどの活動参加に加え、竹炊飯×防災体験イベントも実施しました。

棚田で学ぶ防災：竹炊飯×クイズラリー

棚田の資源（竹・お米）を使って「もしもの時に役立つ知恵」を体験する、学生主体の試行イベントを実施しました。

楽しさの中に、防災や地域理解の“学び”を入れることを意識しました。

- ・竹炊飯体験：竹を切るところから飯ごうづくり、火起こし、炊飯までを体験
- ・防災クイズラリー：棚田を歩きながら、地域・棚田・防災に関する問題に挑戦
- ・ねらい：棚田の魅力を「景観」だけでなく、「体験」と「学び」で伝える

- ・日時：2026年1月18日（日）
10:00～14:00
- ・場所：紀美野町 中田の棚田
- ・対象：棚田サポーターズご家族（試行イベントとして実施）
- ・参加：13名
(子供4名/大人9名)



運営体制

事前準備から当日運営まで、3チームで分担して進めました。



企画チーム

10月の学生アンケートをもとに、竹炊飯と防災ワークの内容を設計。工程・必要物品・タイムスケジュールを作成し、現地の方との打合せも重ねました。当日は進行と参加者サポートを担当しました。



広報チーム

告知ポスター・案内文・申込フォームを作成し、魅力が伝わる発信を工夫しました。当日は準備からイベント中の様子を中心に写真撮影を行い、記録づくりと豚汁づくりのサポートも担当しました。



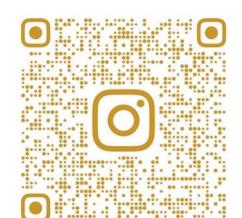
ロジチーム

安全管理と運営面を担当し、受付・金銭管理・誘導・危険箇所での声かけ・備品管理を実施。会場全体を俯瞰して動き、トラブルの未然防止につなげました。事前準備が当日の落ち着いた対応につながりました。

来年度の活動方針

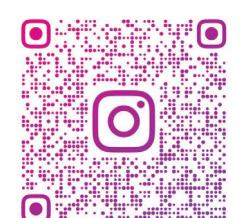
- ・今年度の反省を活かし、学生主体の体験イベントを継続して試行ていきます。
- ・活動の幅を広げるために、棚田をより深く知れる仕組み（作業・学び・発信の連動）を整えます。
- ・今後は、田んぼ1面をお借りしてLPPで育てる活動も検討中です（地域の方と相談しながら進めます）。
- ・これまでの「Lゼミ」中心の関わりから、来年度は「L活」としての活動形態に移行予定です。

紀美野町小川LPP Instagram



@KIMINO_OGAWA_LPP

中田の棚田再生PJ Instagram



@KIMINO_RICE_TERRACE